

2008年度卒業論文発表会プログラム

－生物環境学科 地域環境科学講座－

日時：2009年2月19日(木) 8時50分～18時15分 場所：301講義室
 報告方法：15分(発表12分、質疑3分) (予鈴：10分、本鈴：12分、終鈴：15分)

番号	時間	発表者	分野	発表題目
8:50～9:00 開会				
1	09:00～09:15	足利 克洋	地理	中山間地域における農業振興のための集落営農組織の意義 ～岩手県一関市大東町首鹿6区を事例に～
2	09:15～09:30	大崎 亮之	計画	援農型交流活動の新展開と今後の課題 ～山形県村山市「援農型二地域居住事業」を事例に～
3	09:30～09:45	小野寺 雄平	生態	光環境を指標とした森林管理の提案 ～やまがた緑環境税を活用した森林整備への応用を目指して～
4	09:45～10:00	金子 舞	計画	米粉の定着の可能性 山形県庄内地域を事例として
5	10:00～10:15	今野 敦	演習林	ナラ類の集団枯損によって形成されたギャップにおける樹種構成および樹種特性からみる二次遷移
6	10:15～10:30	今野 信	生態	新施業システムによる労働生産性向上の効果の検討 ～鶴岡市を対象にGISを用いて～
休憩				
7	10:45～11:00	斎藤 健二	演習林	森林環境教育の教育プログラムの構築と実践
8	11:00～11:15	佐藤 和希	地理	地域福祉を視野に入れた高齢者間の交際関係に関する研究 超高齢山間地域である山形県鶴岡市大鳥地区を事例に
9	11:15～11:30	佐藤 拓哉	生態	ナラ枯れ発生初期段階における集合フェロモンを用いたカシノナガキクイムシの誘引捕殺効果
10	11:30～11:45	佐藤 光	河川	ハツ面川の周辺水路におけるイバラトミヨの生息状況
11	11:45～12:00	設楽 恭平	地理	地方都市須賀川の現状と今後の地域活性化の方向性に関する研究
12	12:00～12:15	須藤 泰典	生態	北海道のブナ林における連年開花の実態とメカニズム
昼食休憩				
13	13:00～13:15	田井 富士子	生態	アオダモ果実の果皮強度による発芽遅延とその地理変異
14	13:15～13:30	伊達 孝典	農地	温室効果ガス削減を目的とした転換畑地における水管理方法の考案
15	13:30～13:45	田中 亜也	計画	企業における環境教育の有効性に関する考察
16	13:45～14:00	照沼 雄太	河川	山地溪流における放流魚の移動分散
17	14:00～14:15	新田 響平	生態	ニセアカシア休眠種子の変性の可能性とギャップ検知機構の解明
18	14:15～14:30	野崎 大喬	地理	静岡県浜松市の市町村合併と政令指定都市化の構想と実態
休憩				
19	14:45～15:00	長谷川 晃彦	農地	閉鎖型汎用化水田構造を有した転換畑地での地下水帯における溶存亜酸化窒素の動態
20	15:00～15:15	服部 真理紗	地理	生物の種多様性の回復と維持に関する研究 ～兵庫県豊岡市コウノトリの野生復帰を事例として～
21	15:15～15:30	花房 哲一郎	河川	粗石付斜路式魚道工の越流特性
22	15:30～15:45	原 賢太郎	演習林	上名川演習林シオジ谷地における湿地林の分布様式および動態
23	15:45～16:00	星 拓也	小野寺	スギ幼齢林における育林放牧の評価
24	16:00～16:15	摩庭 直哉	河川	岩手・宮城内陸地震における農業施設被害と復旧 特に水路を中心として
休憩				
25	16:30～16:45	丸山 恵	河川	庄内南部5河川における夏期の藻類と水環境について
26	16:45～17:00	村山 大輔	生態	無間伐で成林した豪雪地スギ高齢林の林分構造と成立過程
27	17:00～17:15	渡邊 悠	計画	農家に対する道の駅併設型直売所の影響 山形県庄内地域を事例に
28	17:15～17:30	須藤 宏	河川	ヤマトヨコエビの生息条件としての河床材料の構成
29	17:30～17:45	田中 陽平	河川	水田ファームポンドの調整機能・ピーク配水量の分析と節水運用シミュレーション
30	17:45～18:00	畑中 章吾	農地	リン酸動態の経時変動解析とその溶出防止効果 閉鎖型汎用化水田構造を有する転換畑地における水質汚染防止に関する研究
18:00～18:15 講評・閉会				

休憩時間以外は入退室禁止(報告者といえども途中の入退場はできない)。

2,3年次生は各回(休憩から休憩まで)ごとに入場時に出席カードを受け取り、番号、氏名を記入して退場時にボックスに入れること。